

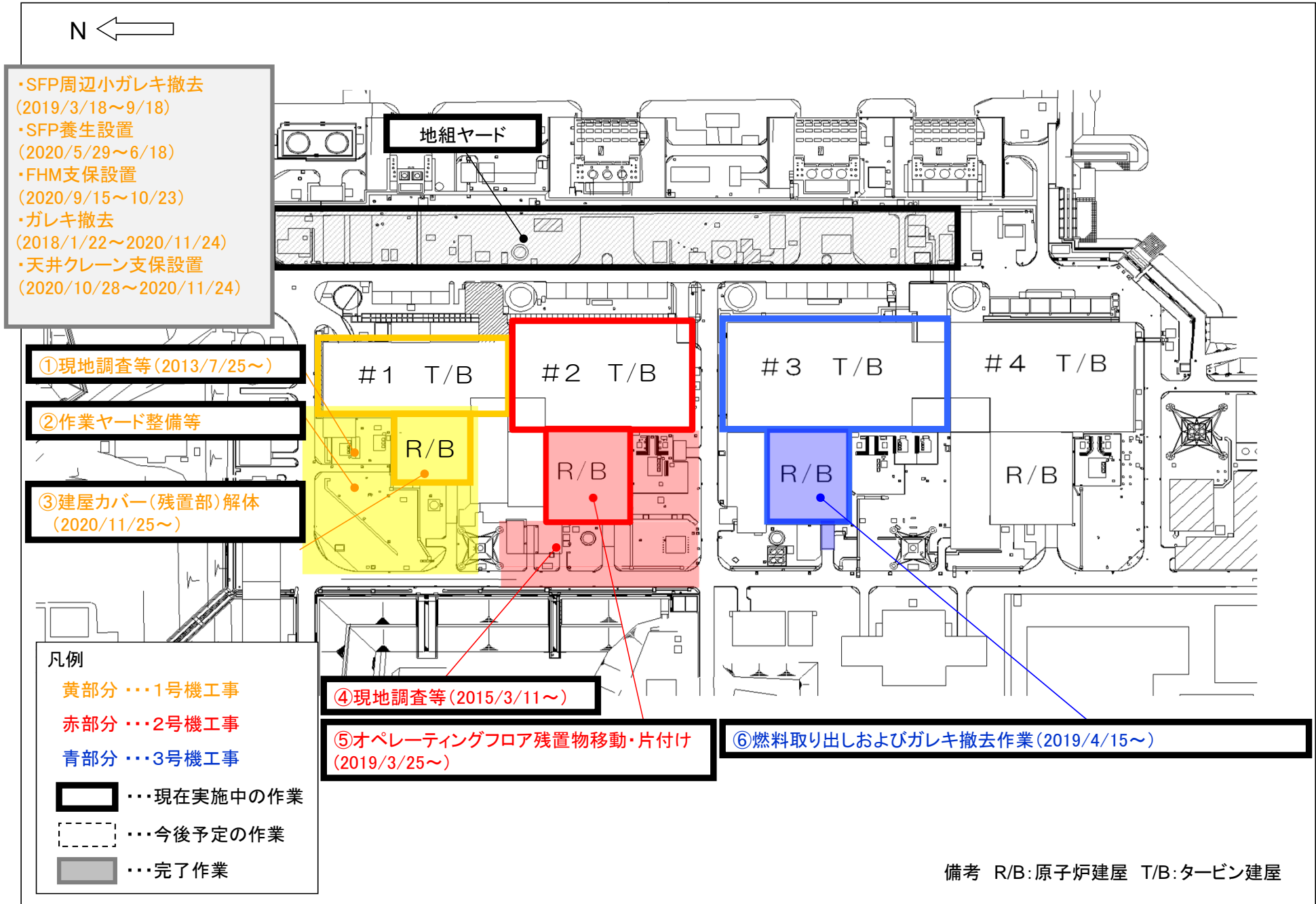
使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	12月					1月					2月				3月			4月	備考			
				20	27	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下	日	月							
使用済燃料プール対策	カバー	1号機	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・ガレキ撤去 ・SFP周辺小ガレキ撤去 ・FHM下部支障物撤去 ・SFPゲートカバー設置 ・SFP養生設置 ・FHM支保設置 ・天井クレーン支保設置  (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・建屋カバー(残置部)解体	検	燃料取り出し設備、大型カバーの検討・設計																				
				計	ガレキ落下防止・緩和対策の検討																				
				現	①現地調査等('13/7/25~)																				
				場	②作業ヤード整備等																				
				作	③建屋カバー(残置部)解体(準備作業等含む)																				
		業																							
		2号機	燃料取り出し用カバーの詳細設計の検討 原子炉建屋上部のガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの設置工事	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・南側ヤード干渉物撤去 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その4) ・原子炉建屋オベフロ調査(準備作業等含む)  (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・南側ヤード干渉物撤去 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その4) ・原子炉建屋オベフロ調査	検	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計																			
					計	④現地調査等																			
					現	南側ヤード干渉物撤去																			
					場	原子炉建屋オベフロ調査(準備作業等含む)																			
作																									
				【主要工程】 ○ガレキ撤去 ・ガレキ撤去：'18/1/22~20/11/24(大型カバー設置後に再開予定) ・Xブレース撤去：'18/9/19~'18/12/20 ・機器ハッチ養生：'19/1/11~'19/3/6 ・屋根鉄骨分断：'19/2/5~'19/2/22 ・SFP周辺小ガレキ撤去：'19/3/18~20/9/18 ・ウェルプラグ調査：'19/7/17~'19/8/26 ・SFP内干渉物等調査：'19/8/2、'19/9/4~6、9/20、27 ・ウェルプラグ上のH鋼撤去：'19/8/28 ・FHM下部支障物撤去：'20/3/3~'20/3/14 ・SFPゲートカバー設置：'20/3/16~'20/3/18 ・SFP養生設置(準備作業含む)：'20/3/20~'20/6/18 ・FHM支保設置(準備作業含む)：'20/9/15~'20/10/23 ・天井クレーン支保設置(準備作業含む)：'20/10/28~'20/11/24 ○大型カバー設置 ・残置カバー解体(準備作業含む)：'20/11/25~ 【規制庁関連】 ・オペレーティングフロア床上加レキの一部撤去等 実施計画変更認可(2019/3/1)  ※○番号は、別紙配置図と対応																					
				【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：'19/10/31 ・ヤード整備工事：'15/3/11~'16/11/30 ・西側構台設置工事：'16/9/28~'17/2/18 ・前室設置工事：'17/3/3~'17/5/16 ・屋根保護層撤去(適隔重機作業)：'18/1/22~'18/5/11 ・オペレーティングフロア西側外壁開口：'18/4/16~'18/6/21 ・鉄骨トラス状況確認：'18/2/28~'18/3/17 ・オペレーティングフロア調査：'18/6/25~'18/7/18 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け：'18/8/23~'18/11/6 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け後調査と片付け：'18/11/14~'19/2/28 ・西側構台設備点検：'19/2/13~'19/3/26 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その2)：'19/3/25~'19/8/27 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その3)：'19/9/10~'20/2/25 ・SFP内調査：'20/4/27~'20/6/30(調査：'20/6/10~'20/6/11) ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その4)：'20/3/2~'20/12/11 ・原子炉建屋オベフロ調査：'20/12/7~'21/2/末 【規制庁関連】 ・西側外壁開口設置 実施計画変更認可(2017/12/21) ・燃料取り出し用構台 実施計画変更申請(2020/12/25) ・燃料取扱設備 実施計画変更申請(2020/12/25)  ※○番号は、別紙配置図と対応																					

使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	12月							1月							2月							3月							4月							備考
				20	27	3	10	17	24	31	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	1	8	15	22	5	12	19	26									
使用済燃料プール対策	燃料取扱設備	クレーン/燃料取扱機の設計・製作 プール内ガレキの撤去、燃料調査等	1号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計	燃料取り出し設備、大型カバーの検討・設計																					【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：2014年10月 →プール燃料取り出しに特化したプランを選択 ・ガレキ撤去計画継続検討 ・燃料取り出し計画の選択：'19/12/19													
			2号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計																						【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：'19/10/31												
		3号機 (実績) ・ガレキ撤去 ・燃料取り出し (予定) ・ガレキ撤去 ・燃料取り出し	検討・設計	⑤燃料取り出しおよびガレキ撤去作業 ガレキ撤去・燃料健全性確認																					【主要工程】 ○クレーン/燃料取扱機等設置点検： ・燃料取扱設備点検：'20/3/30~20/4/26 ○燃料取り出しおよびガレキ撤去作業： ・訓練、ガレキ撤去：'19/3/15~ ・燃料取り出し：'19/4/15~ ・追加訓練：'20/4/27~20/5/23 ○マストケーブル修理 ・調査・修理：'20/9/3~20/10/6 ○クレーン水圧ホース修理 ・修理：'20/9/20~20/10/01 ○クレーン主巻修理 ・調査・修理：'20/11/19~20/12/19 【規制庁関連】 ・3号機燃料取り出し、燃料の取り扱い及び構内用輸送容器 実施計画変更認可申請（2018/3/27）一部補正（2019/2/15）認可（3/12） ・3号機プール内小ガレキ撤去、エリアモニタ、ダストモニタ 実施計画変更認可申請の一部補正（2018/4/13）、認可（6/8） ・3号機損傷・変形等燃料用輸送容器 実施計画変更認可申請（2019/8/20）一部補正（2020/9/15）認可（10/1） ・3号機燃料取り扱いに関する記載変更 実施計画変更認可申請（2020/9/29）一部補正（2020/11/24）認可（12/15）														
現場作業	燃料取り出し																					【規制庁関連】 ・共用プール損傷・変形等燃料ラック実施計画変更認可申請（2019/7/11） 実施計画変更申請の認可（2020/4/8）																	
共用プール		燃料受け入れ	(実績) ・3号機燃料受け入れ (予定) ・3号機燃料受け入れ	現場作業	3号機燃料受け入れ																					【主要工程】 ○共用プール設備点検： ・クレーン点検：'20/3/30~20/4/4 ・燃料取扱機点検：'20/4/1~20/4/28 ・燃料ラック取替：'20/4/20~20/5/26													

# 1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



# 1号機使用済燃料取り出しに向けた 大型カバーの検討状況について

2021年1月28日

---

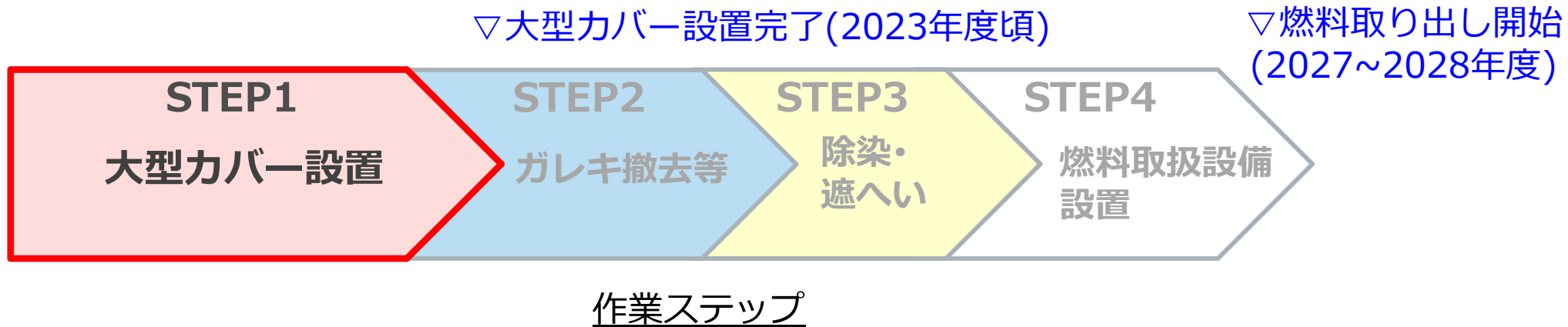
**TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社

# 1 はじめに

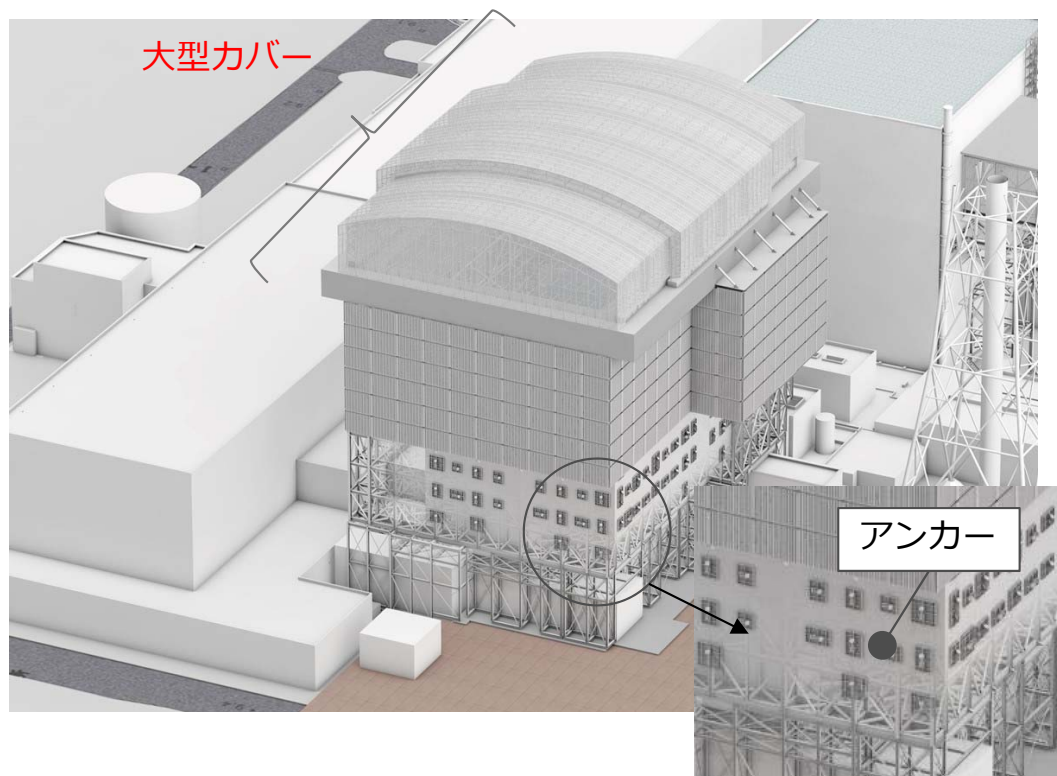
---

- 2019年12月にダスト飛散対策の信頼性向上等の観点から、「原子炉建屋を覆う大型カバーを設置し、カバー内でガレキ撤去を行う」プランを選択した。
- 大型カバーの設計がまとまり次第、実施計画変更申請を原子力規制委員会に提出する予定である。

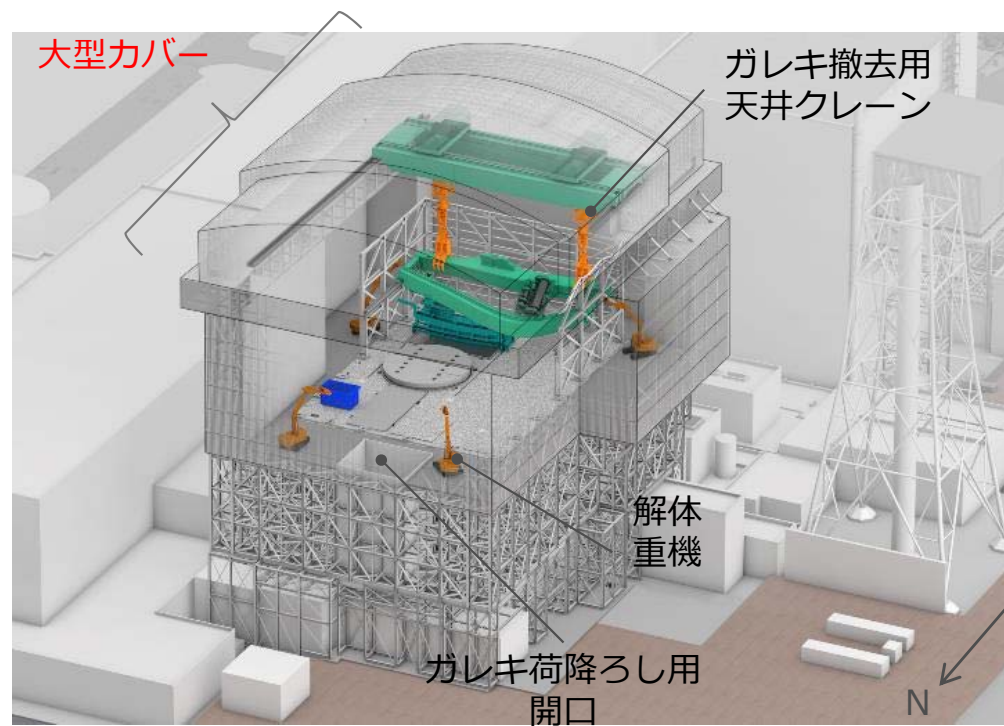


## 2 大型カバーの概要

- 大型カバーの概要は以下の通りである。
  - 原子炉建屋にアンカーで支持されている鉄骨造の構造物とする。
  - 放射性物質の大気への放出を抑制するため、合理的に可能な限り隙間を低減し、あわせて換気設備を設置する。
  - ダスト放射線モニタを設置し、カバー内の放射性物質濃度および外部への漏えい有無を連続監視する。



大型カバー全体のイメージ図



ガレキ撤去時のイメージ図

※ガレキ撤去計画は検討中のため、詳細は変更となる可能性有り



### 3 大型カバーの設計条件

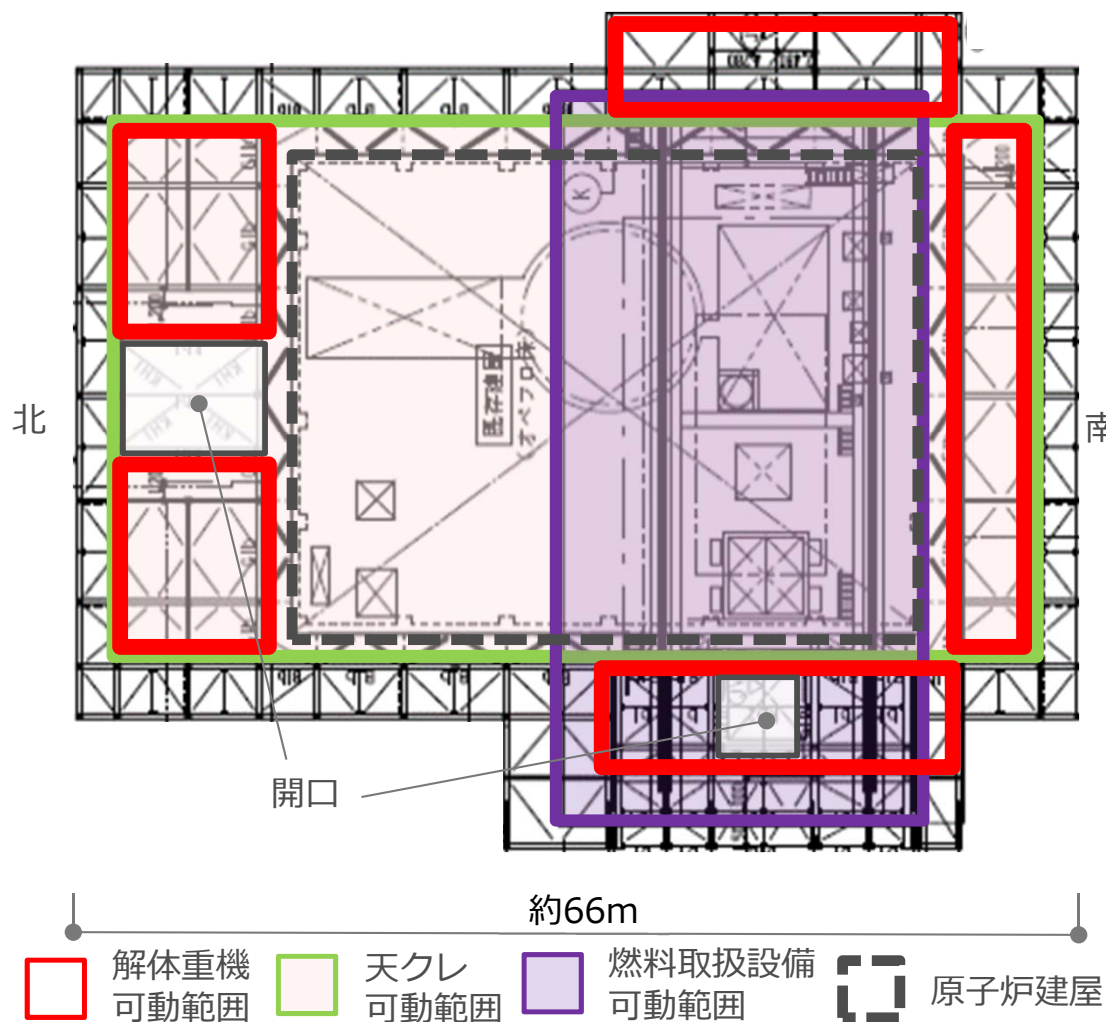
---

■ 大型カバーの設計条件は以下の通りである。

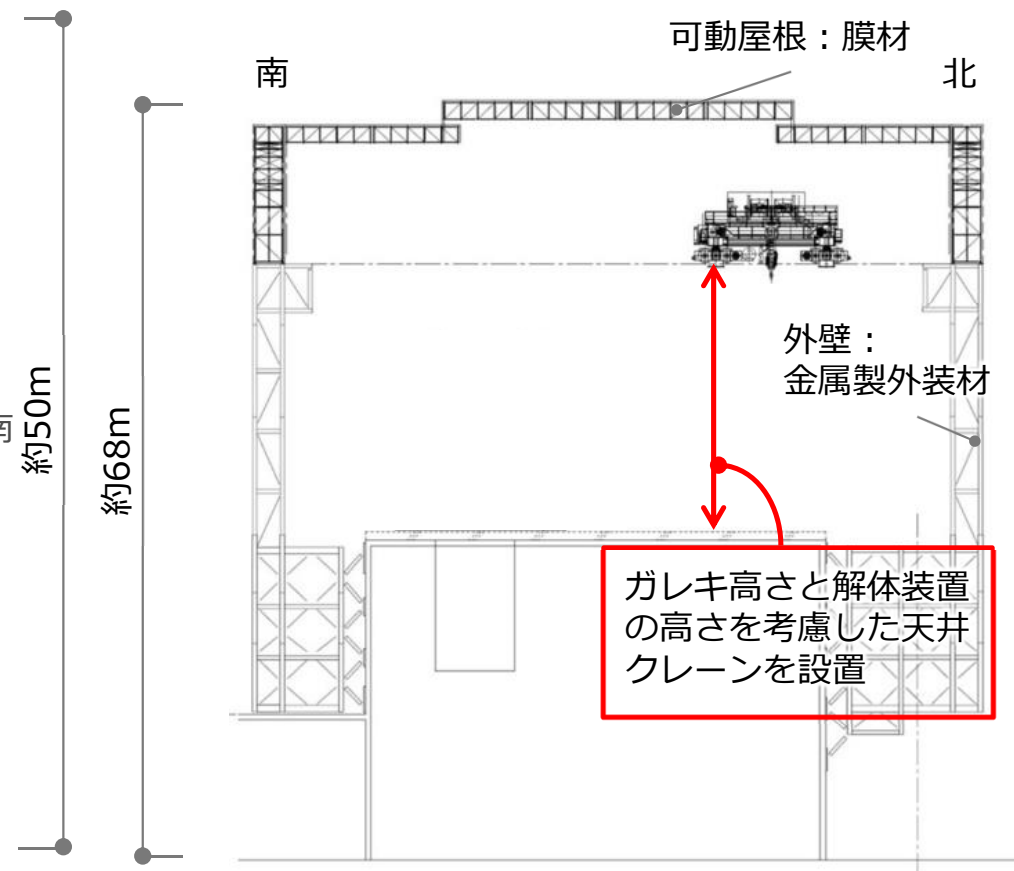
- 大型カバーの一部架構は、燃料取扱設備を間接的に支持する構造物であるため、建築基準法に定められた地震力の1.5倍を考慮した設計とする。  
(3, 4号機と同様の設計)
- 基準地震動 $S_s$ に対する耐震安全性を確認し、原子炉建屋や使用済燃料プール、使用済燃料貯蔵ラックへの波及的影響を防止した設計とする。
- ガレキ撤去や使用済燃料プールからの取り出し作業に支障が生じることのない大きさとするとともに、原子炉建屋に追加される大型カバーの重量を極力低減する設計とする。
- 合理的に可能な限り隙間を低減するとともに、換気設備を設けることにより、カバー内の放射性物質の大気への放出を抑制できる設計とする。

## 4. 1 大型カバーの規模

- ガレキ撤去および燃料取り出し作業が可能な面積，高さを確保する。
- 屋根は軽量化を考慮して膜材を採用，外装材は3号機カバーと同様に金属製外装材を採用する。



大型カバー平面図

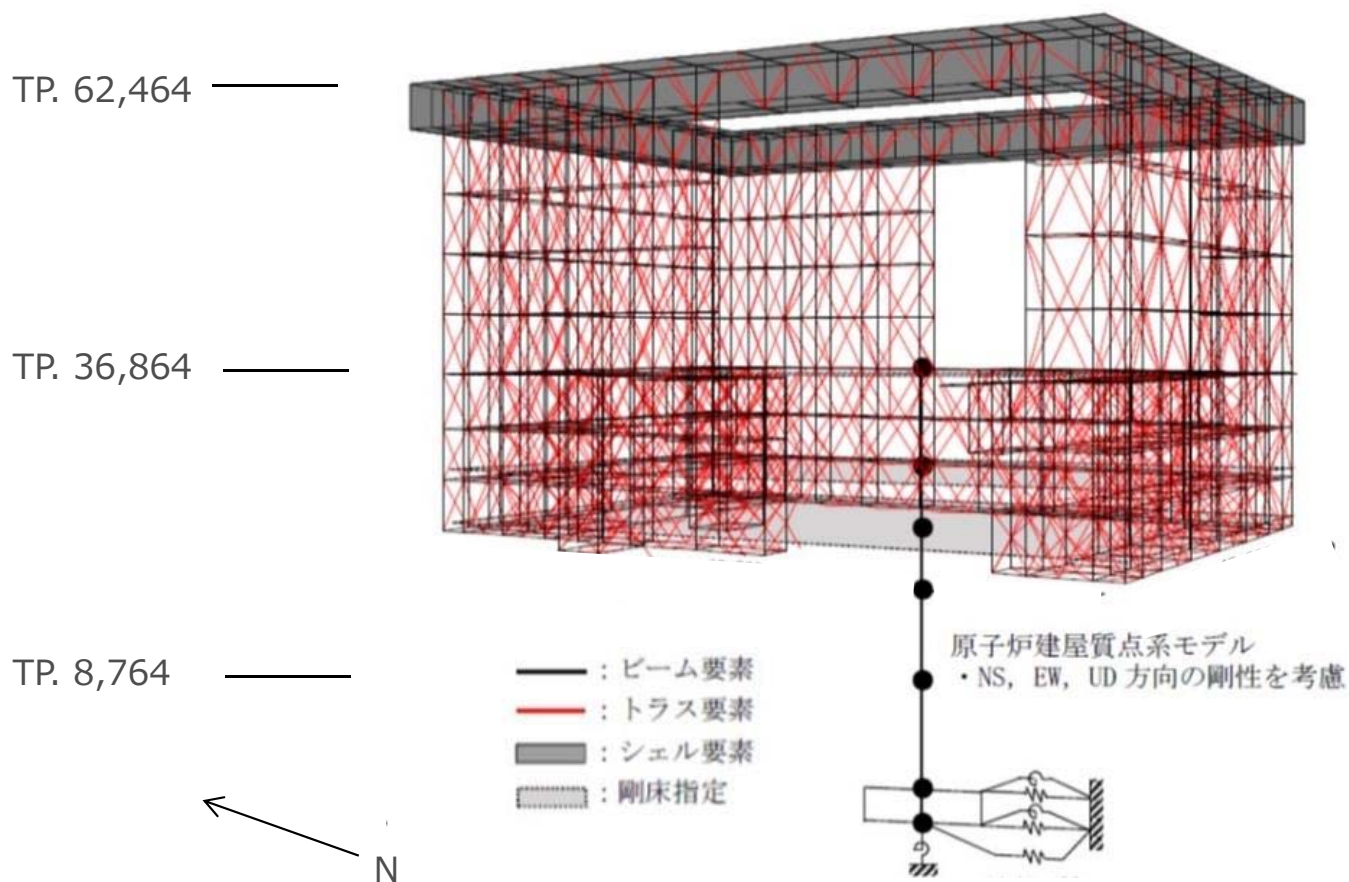


大型カバー断面図(南北)



## 4. 2 大型カバーの耐震安全性

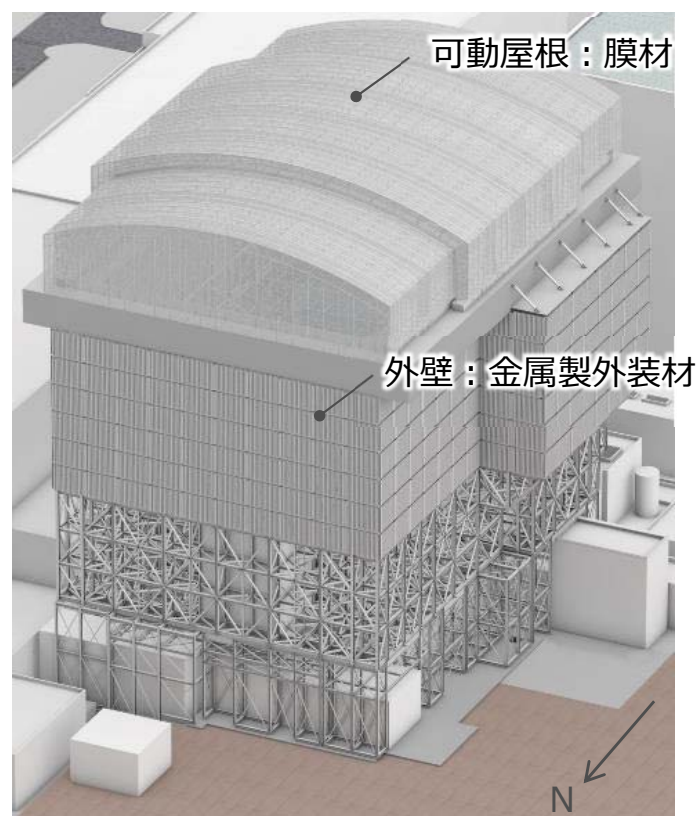
- 大型カバーの立体フレームモデルを原子炉建屋の質点系モデルに接続し、地盤を等価なばねで評価した建屋-地盤連成系モデルにて地震応答解析を実施する。
- 大型カバー、原子炉建屋ともに耐震安全性を有していることを確認するとともに、基準地震動 $S_s$ に対して、原子炉建屋及び使用済燃料プール等への波及的影響を及ぼさないことを確認する。



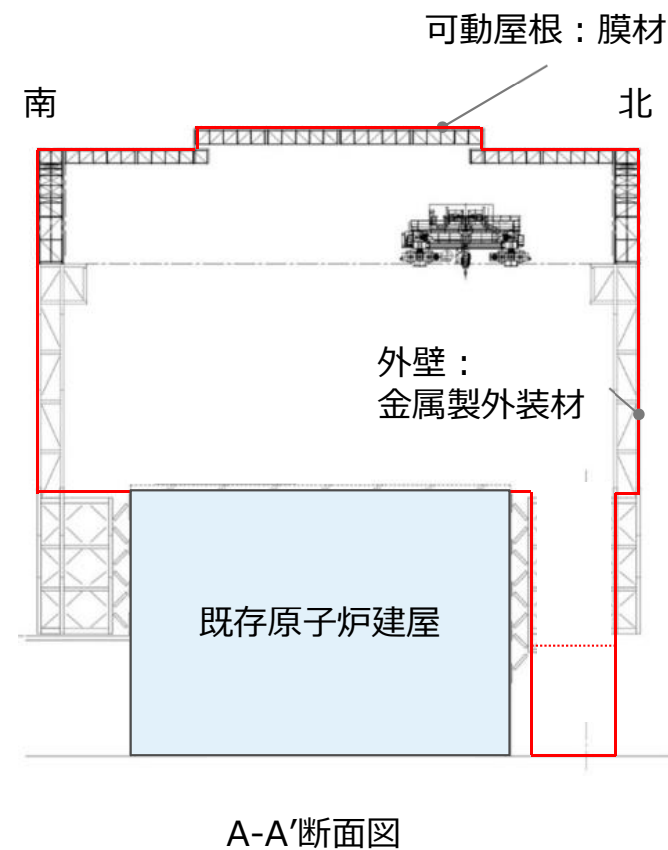
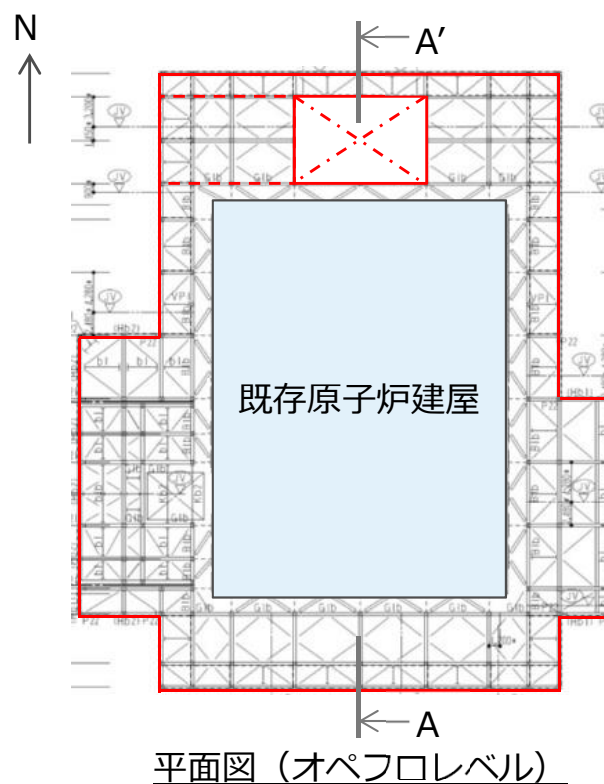
地震応答解析モデル図

## 4. 3 放射性物質の放出抑制

- 大型カバーの隙間としては、原子炉建屋との取り合い部などがあり、これらを合理的可能な限り低減する。
- 換気設備を考慮した環境影響評価により、敷地境界線量の管理目標値に対して与える影響が小さいことを確認している。



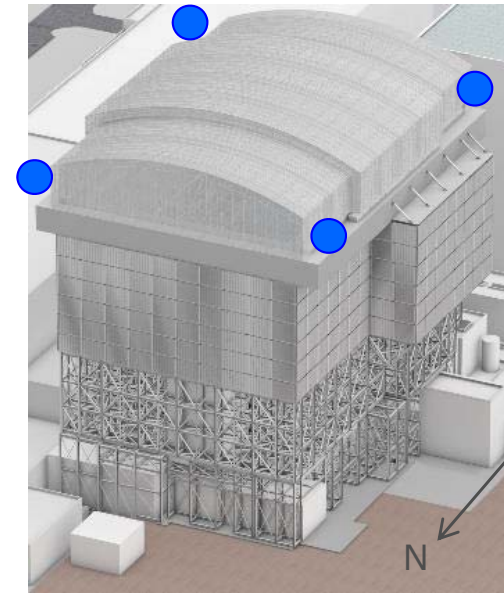
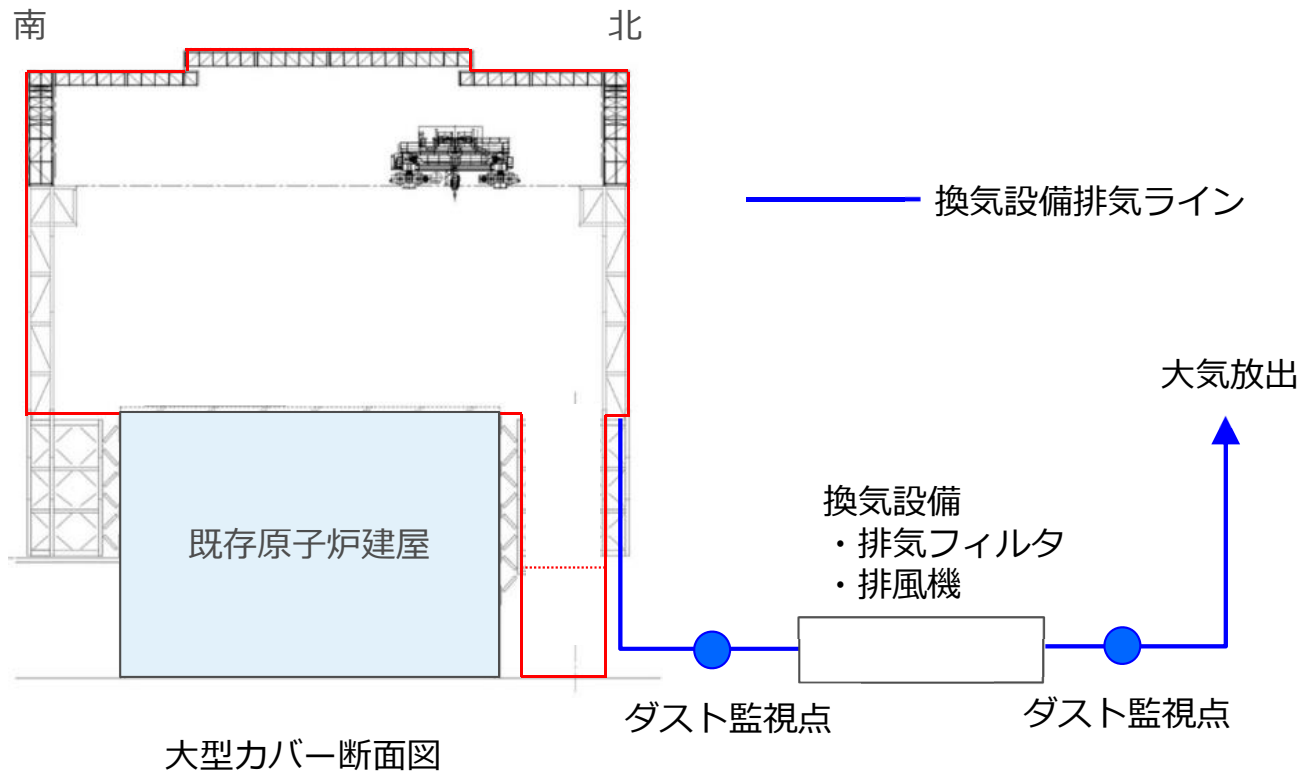
大型カバーイメージ図



— カバー境界位置

## 4. 4 放射性物質の放出抑制

- 大型カバー内でのガレキ撤去に伴い飛散する放射性物質は、換気設備の排気フィルタにより捕集して、カバー内の空気を外部へ排出する。
- 換気設備の入口及び出口にダスト監視点を設置し、大型カバー内及び大気放出前の放射性物質濃度を測定する。
- また、更なる対応として、大型カバー外周部にダスト監視点を設定し、監視強化を図る。



## 5 今後のスケジュール

- 現在、建屋カバー（残置部）の解体を進めており、その後、2021年度上期より大型カバー設置工事に着手する予定である。

	2020年度			2021年度		2022年度	2023年度	2024年度
	1	2	3	上期	下期			
中長期RM マイルストーン							2023年度頃 大型カバー設置完了	
建屋カバー(残置部) 解体	防風フェンス等・ミスト鉄骨解体			梁・柱解体				
	小割解体等			基礎解体				
大型カバー設置工事		準備工事			大型カバー本体工事		大型カバー付帯設備工事	
許認可		実施計画変更申請（大型カバー）			実施計画変更申請（付帯設備）			

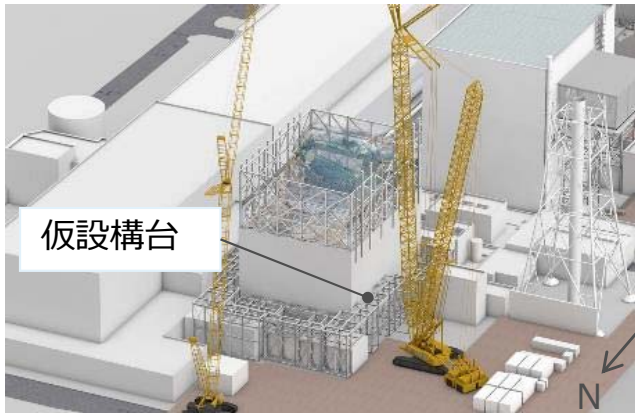
※周辺工事との調整や現場状況等を踏まえて、工程は変更となる可能性がある



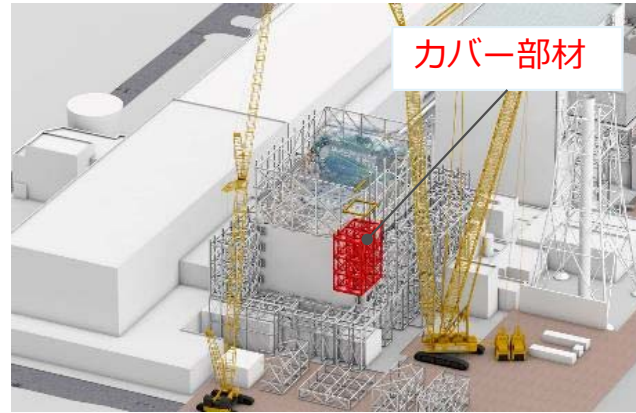
# 【参考】燃料取り出し工法の概要（作業ステップ）

- 主な作業ステップイメージを下図に示す。

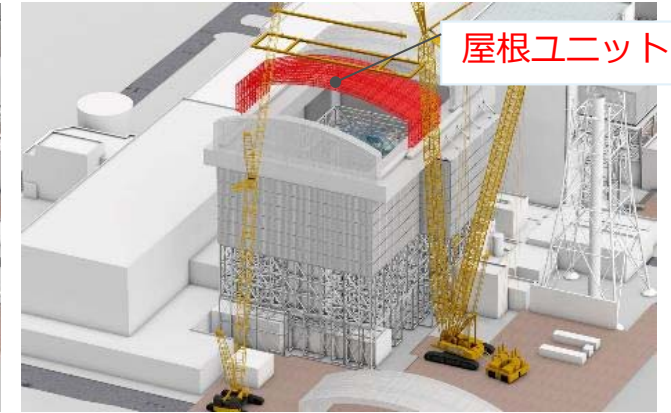
今回実施計画変更申請対象



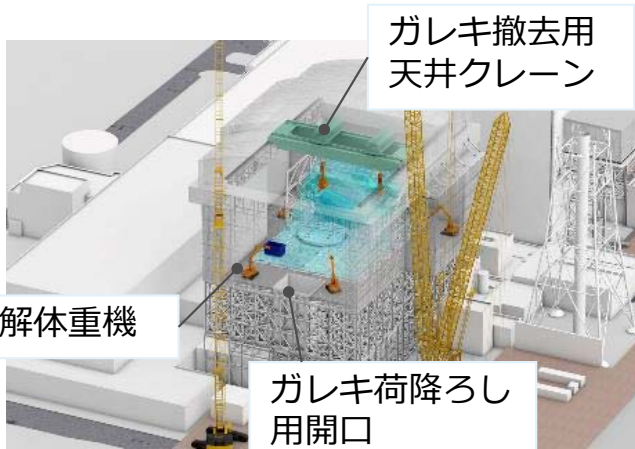
①仮設構台設置



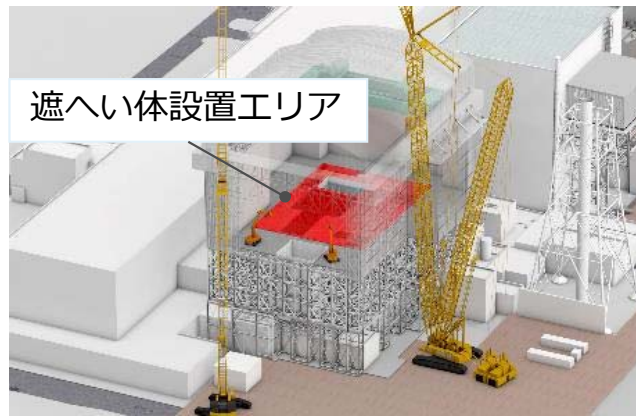
②カバー部材設置



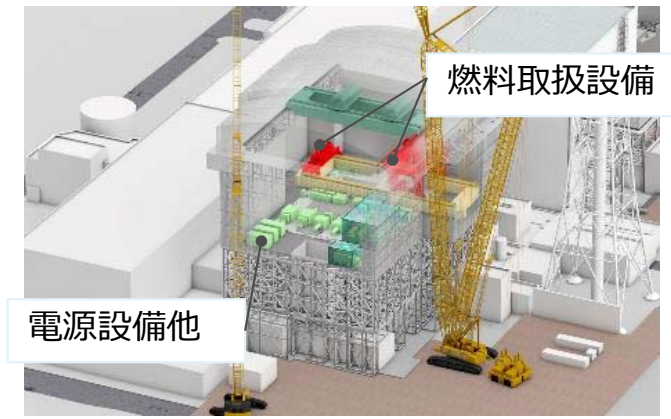
③屋根ユニット設置



④ガレキ撤去



⑤除染・遮へい



⑥燃料取扱設備設置

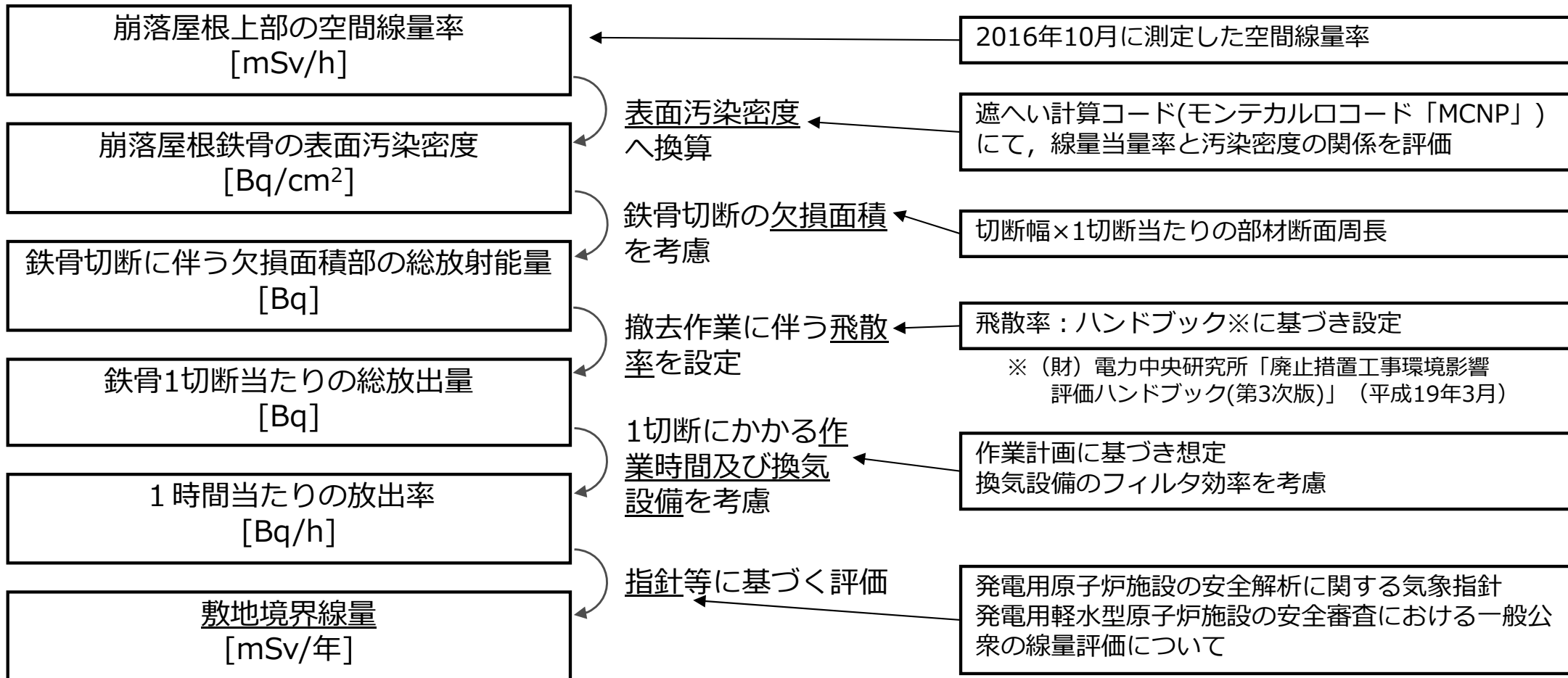
※ガレキ撤去計画は検討中のため、詳細は変更となる可能性有り

## 【参考】大型カバー設置後の環境影響評価（1）

- 大型カバー内でガレキ撤去を実施する際に発生すると考えられるダストが、敷地境界線量に与える影響について下記フローにより評価する。

### ＜評価フロー＞

### ＜パラメータ＞





## 【参考】大型カバー設置後の環境影響評価（2）

- ガレキ撤去作業を大型カバー内で実施することにより，大型カバー外部へのダスト飛散量は約97%抑制できる。
- 大型カバー内でガレキ撤去を実施する際に発生するダストを，ガレキの表面汚染密度や欠損面積から，気中へ放出する総放出量を概略評価した結果，敷地境界線量の管理目標値に与える影響は十分小さい値であること，モニタリングポスト近傍に設置されたダストモニタの警報設定値を超える範囲でないことを確認した。

- 鉄骨の切断に伴う大型カバー内での放射性物質の放出率（総放出量[Bq]÷作業時間[h]）

$$2.8 \times 10^7 [\text{Bq/h}]$$

- 鉄骨の切断に伴う大型カバー換気設備出口の放出率（換気設備を考慮）

$$1.2 \times 10^5 [\text{Bq/h}] < 7.5 \times 10^8 [\text{Bq/h}]$$

（モニタリングポスト近傍ダストモニタの警報設定値  
 $1.0 \times 10^{-5} \text{B/cm}^3$ に対して，基本拡散式から大型カバー排気設備出口における放出率を逆算した値）

- 鉄骨の切断に起因する放出による敷地境界線量（プルーム，地表沈着，吸入の合計）

$$2.0 \times 10^{-4} [\text{mSv/年}] < 1 [\text{mSv/年}]$$

（「特定原子力施設への指定に際し東京電力株式会社福島第一原子力発電所に対して求める措置を講ずべき事項について」において、求められている敷地境界線量）

※新たな知見の判明や作業計画の進捗により本数値が変更となる場合がある

# 3号機燃料取り出しの状況

2021年1月28日

**TEPCO**

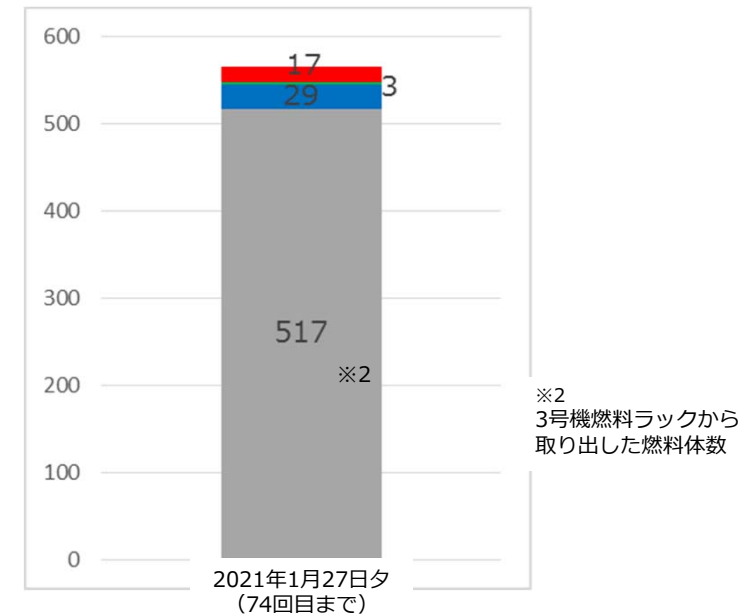
---

東京電力ホールディングス株式会社

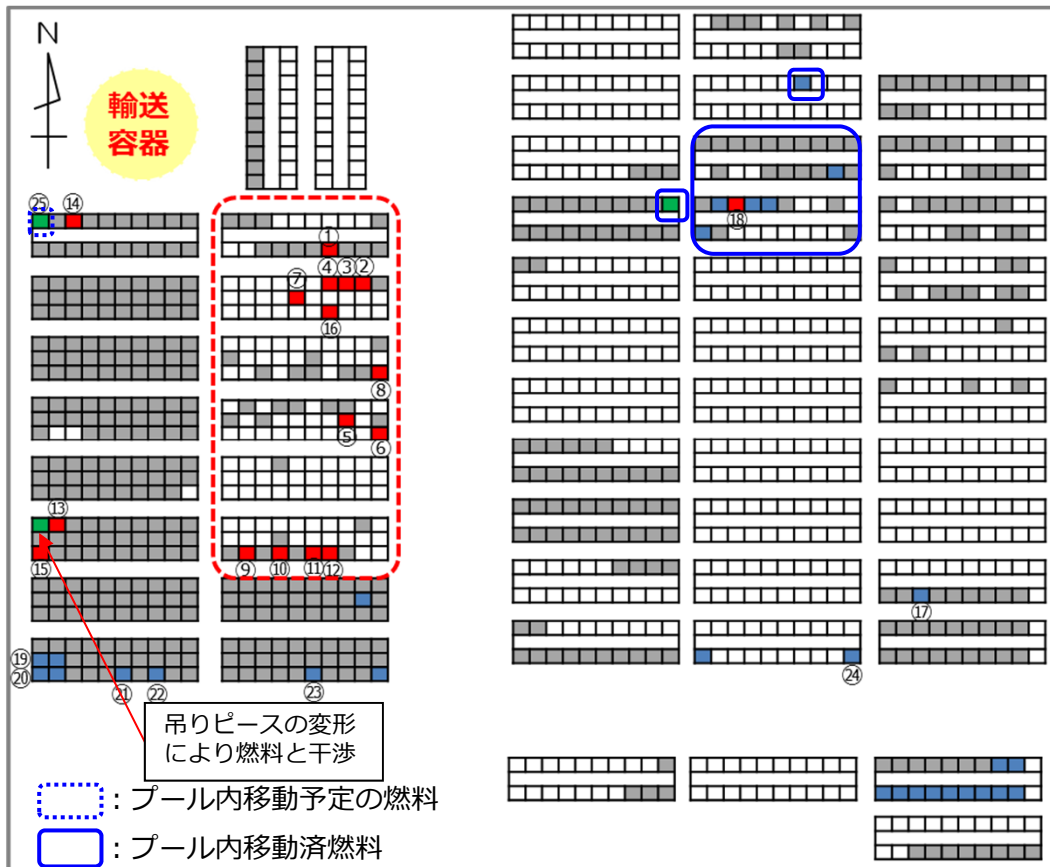
# 1. 燃料取り出し・ガレキ撤去の状況

- 2021年1月28日朝時点,計517体<sup>※1</sup> /全566体の取り出しを完了している。
- 吊り上げ可能な状態にする対応が必要な燃料は4体。その他の燃料は吊り上げ可を確認済
  - ✓ 吊り上げ未確認燃料1体。燃料ラック吊りピースとの干渉解除が必要。
  - ✓ 干渉解除措置が必要な燃料3体 (⑩⑰⑱)

※1 共用プールに取り出し完了した燃料体数



※2 3号機燃料ラックから取り出した燃料体数



3号機使用済燃料プール (74回目までの取り出し状況を反映)

3号機使用済燃料プール内燃料内訳

- : ハンドル変形燃料
- : ガレキ撤去中
- : ガレキ撤去完了
- : 燃料取り出し済
- : 燃料が入っていないラック
- : 燃料交換機、コンクリートハッチが落下したエリア
- ①~⑱ : ハンドル変形燃料
- ⑩⑰⑱ : 干渉解除対応中の燃料

## 2. 吊り上げ確認等の状況

- 燃料取り出しに先立ち、吊り上げ確認を実施。状況は下表のとおり。

### (1) 吊り上げ可能な状態にする対応が必要な燃料 (4体)

状態	体数	対応
吊り上げ未確認	1	燃料ラック吊りピースとの干渉解除 (位置はp1に矢印で表示)
最大1000kgで吊り上げ不可 (⑩,⑬,⑰)	3	ガレキ撤去ツール適用後,吊り上げ試験再実施 干渉解除措置を実施

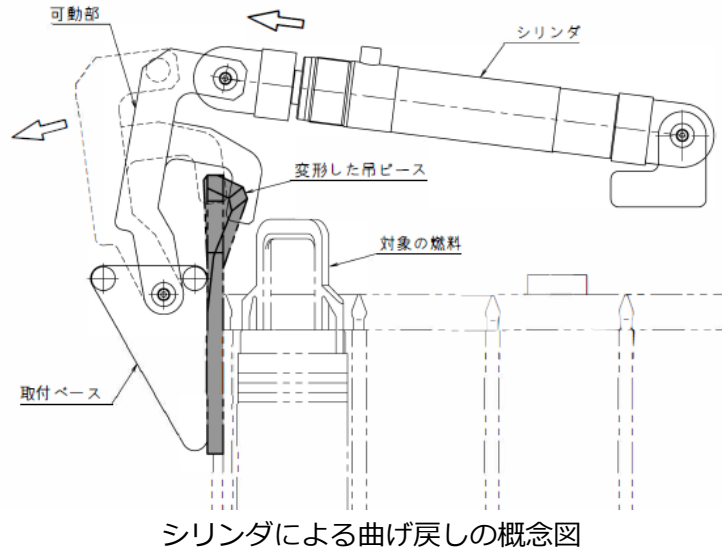
### (2) 燃料上部のガレキ除去等実施後、吊り上げ可能であることを確認した燃料 (6体)

状態	体数	対応
吊り上げ可 (⑲～⑳)	6	タガネによるガレキ撤去後,吊り上げ可を確認

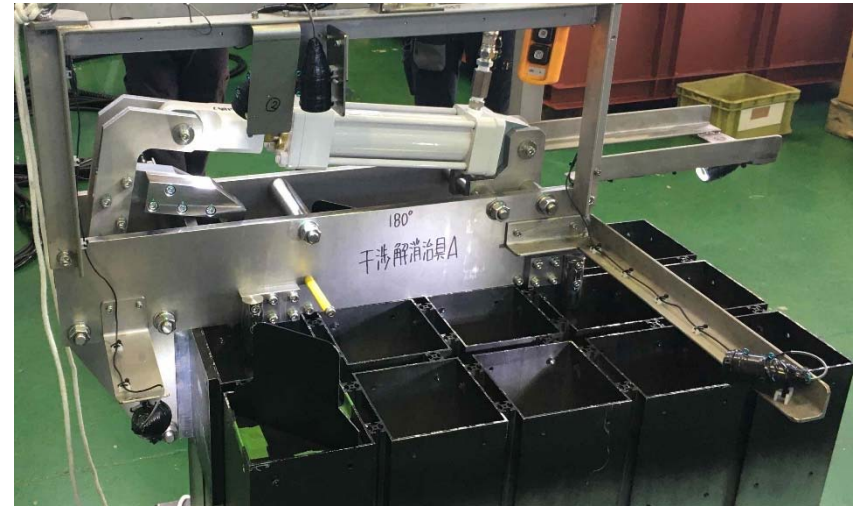
※：①等の番号はハンドル変形燃料等の通し番号【P1に記載】

### 3. 燃料ラック吊りピースとの干渉解除

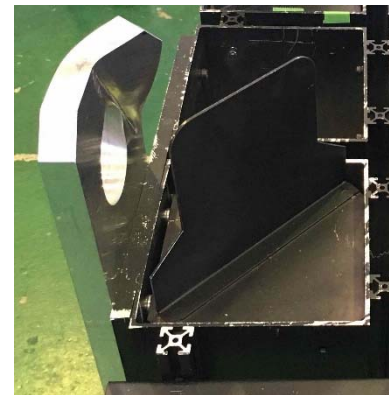
- 吊りピースをシリンダ等により押し付け曲げ戻し,燃料との干渉を解除する措置を準備
- 模擬ラックによるモックアップ実施済。今後, 干渉解除の措置を実施予定



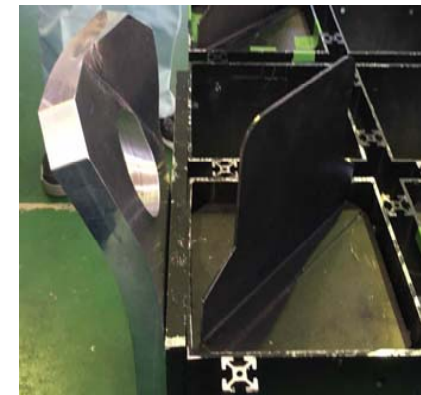
シリンダによる曲げ戻しの概念図



模擬ラックによるモックアップの状況 (気中※)  
※水中でのモックアップも実施済



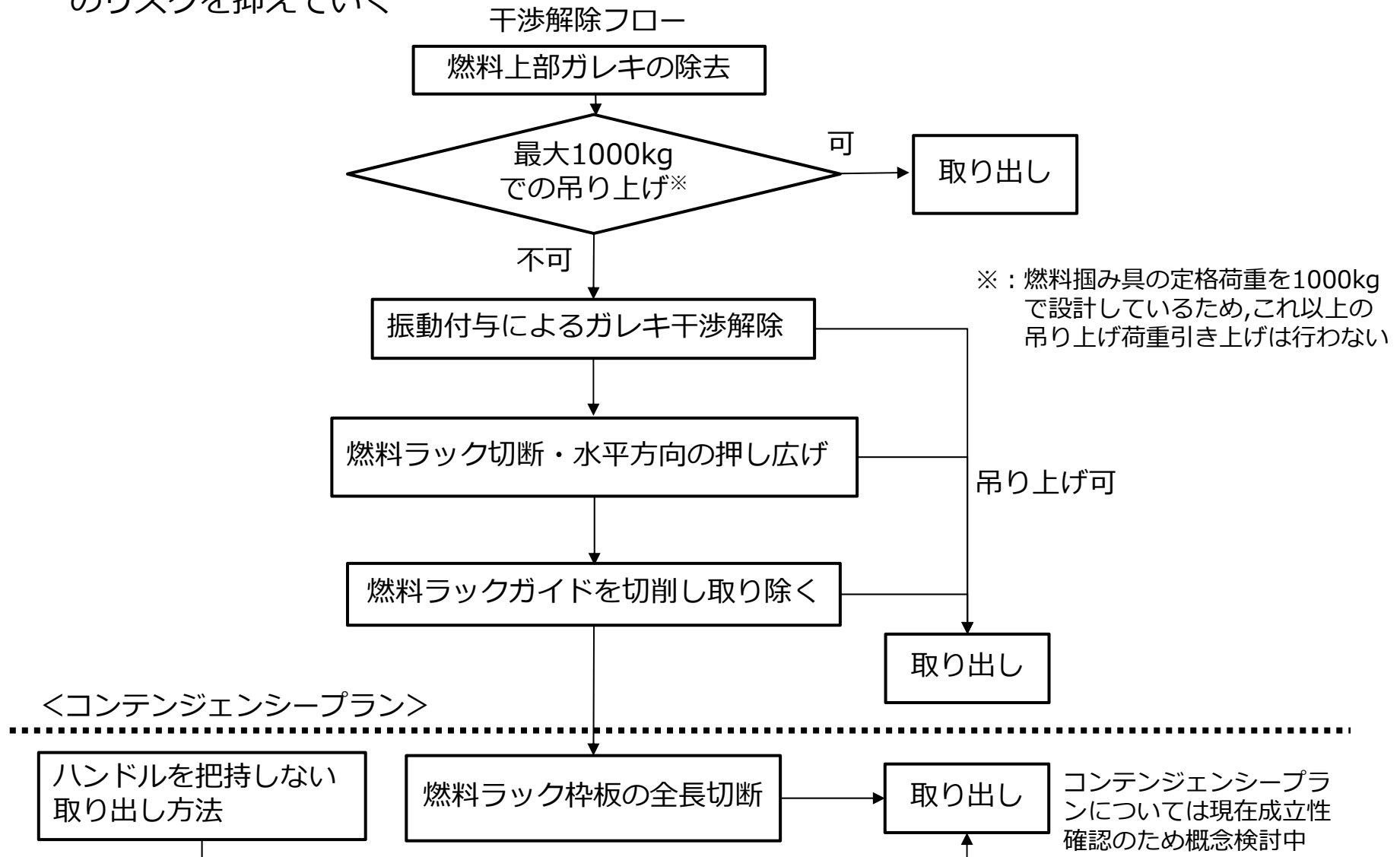
模擬ラック曲げ戻し前



模擬ラック曲げ戻し後

## 4. 干渉解除フロー

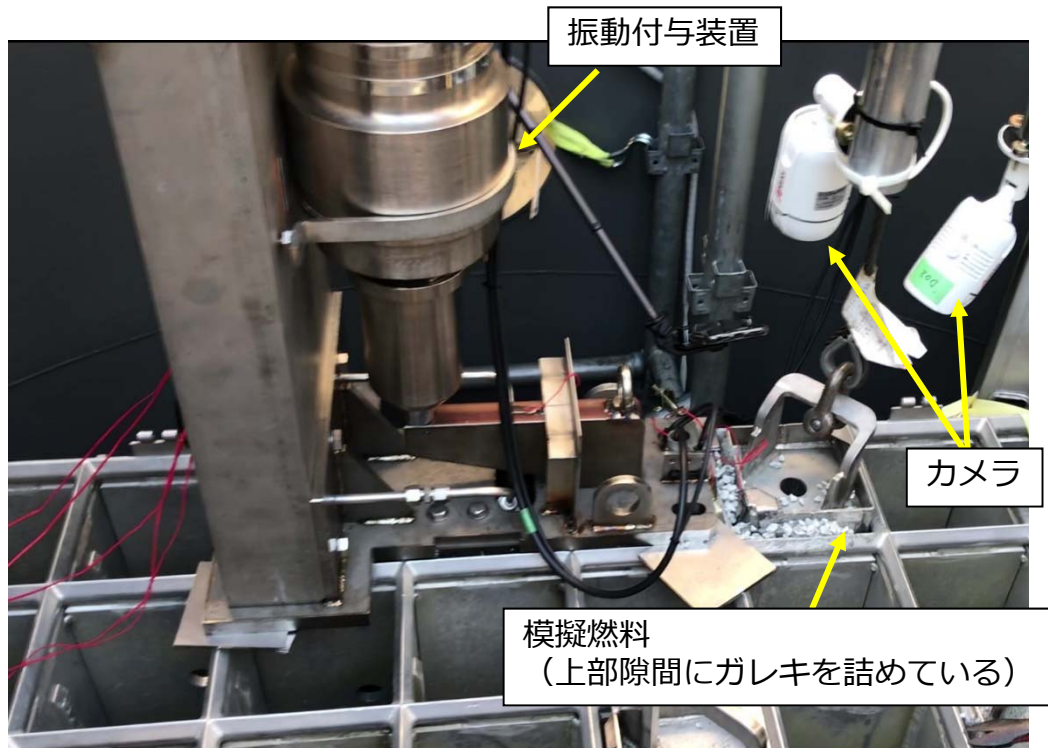
- 干渉解除のフローを以下に示す。燃料取り出しを早期に完了できるように、段階的に対応を実施していく。また、コンテンジェンシープランを事前に検討し、燃料取り出し完了の長期化のリスクを抑えていく





## 5. 干渉解除方法（振動付与）

- 振動付与装置について模擬ラックにてモックアップを実施している。
  - ✓ 圧縮空気を駆動源としたエアハンマーにより燃料ラック側面を叩き振動を与える装置
- 燃料上部にガレキを詰めた状態において、振動により干渉解除（荷重の減少）が見られるケースを確認できている。
- 干渉解除措置は振動付与装置から現場適用する予定。



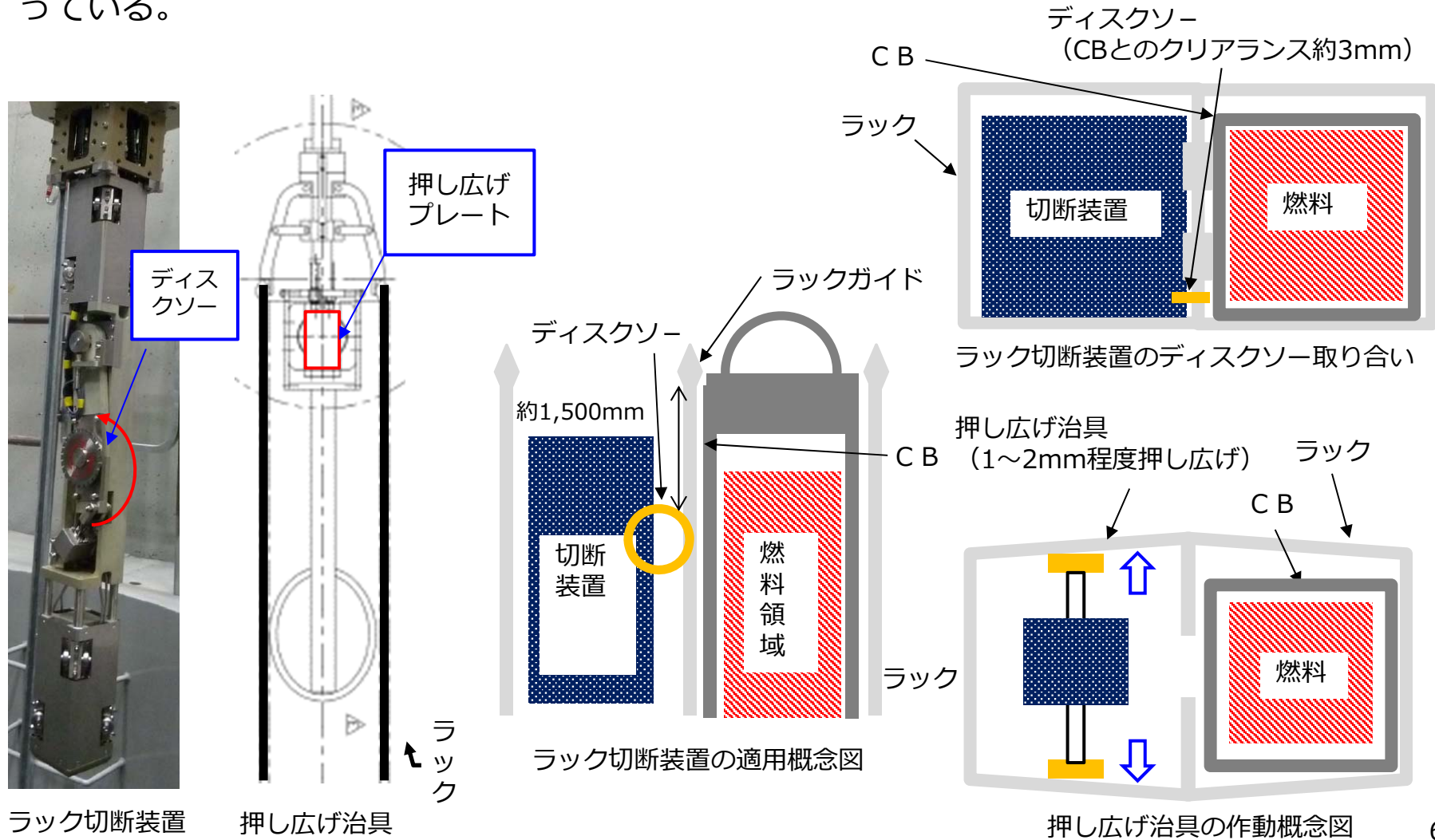
振動付与装置モックアップ状況（気中）



モックアップ設備外観

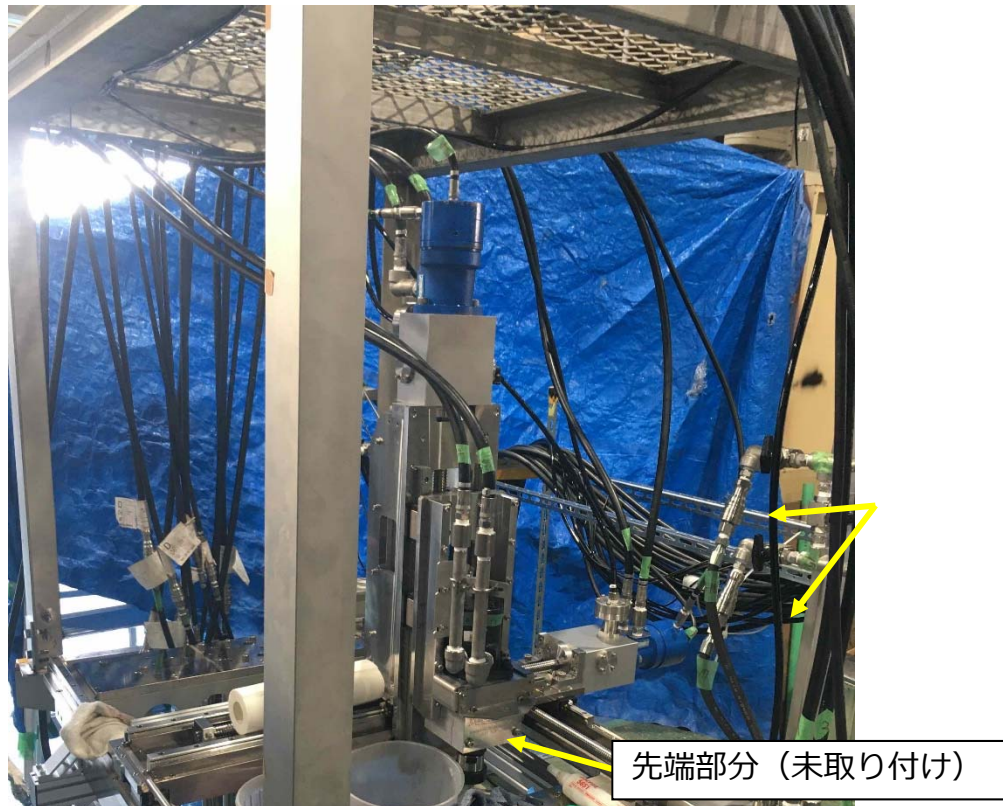
## 5. 干渉解除方法（ラック切断・押し広げ）

- 燃料ラックを垂直に切断するラック切断装置，水平方向にラックを押し広げる押し広げ治具を製作済。現在，工場にて使用前の点検・動作確認を実施中。
- ラック切断装置のディスクソーはラック切断時にチャンネルボックスに接触しない構造となっている。

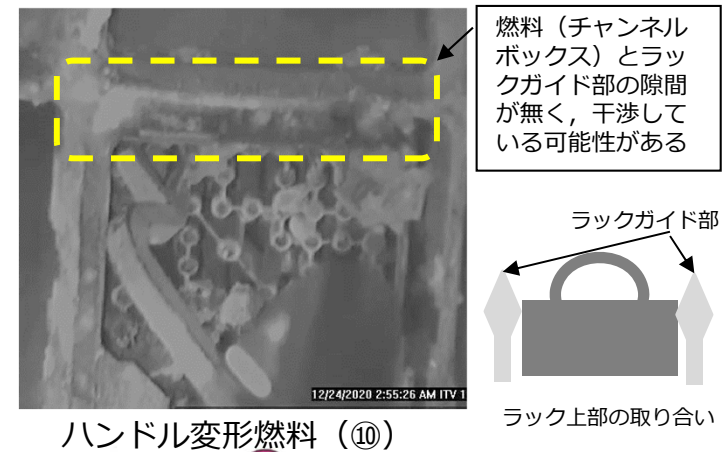


## 5. 干渉解除方法（ラックガイド切削）

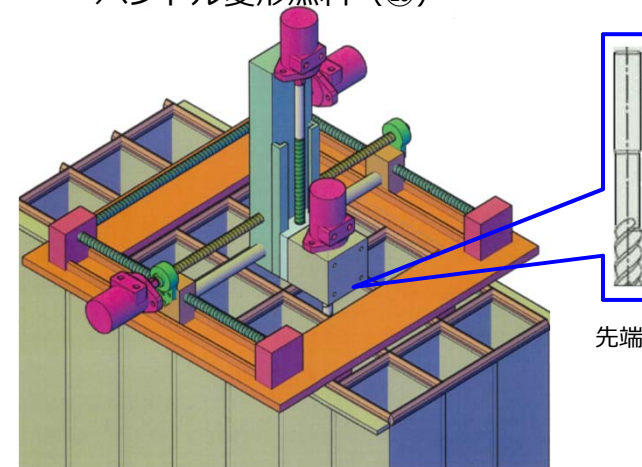
- ラック上部のガイド部を切削する装置について装置の組み立てを現在実施中。
- ハンドル変形燃料の1体（⑩）は燃料上部がラックガイド部と干渉している可能性がある。このことが吊り上げ不可の原因の場合、ガイド部の切削による干渉解除は有用と想定。



ラックガイド切削装置組み立て状況



ハンドル変形燃料（⑩）



ラックガイド切削装置概念図

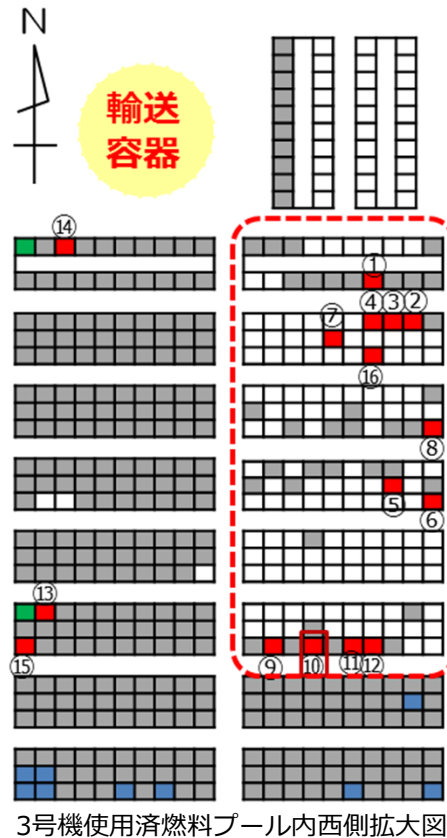


# 6. ハンドル変形燃料

- ハンドル変形燃料は計17体。
- 2体収納の輸送容器で輸送する燃料は計8体（右表の黄色箇所）

ハンドル変形燃料取扱い区分

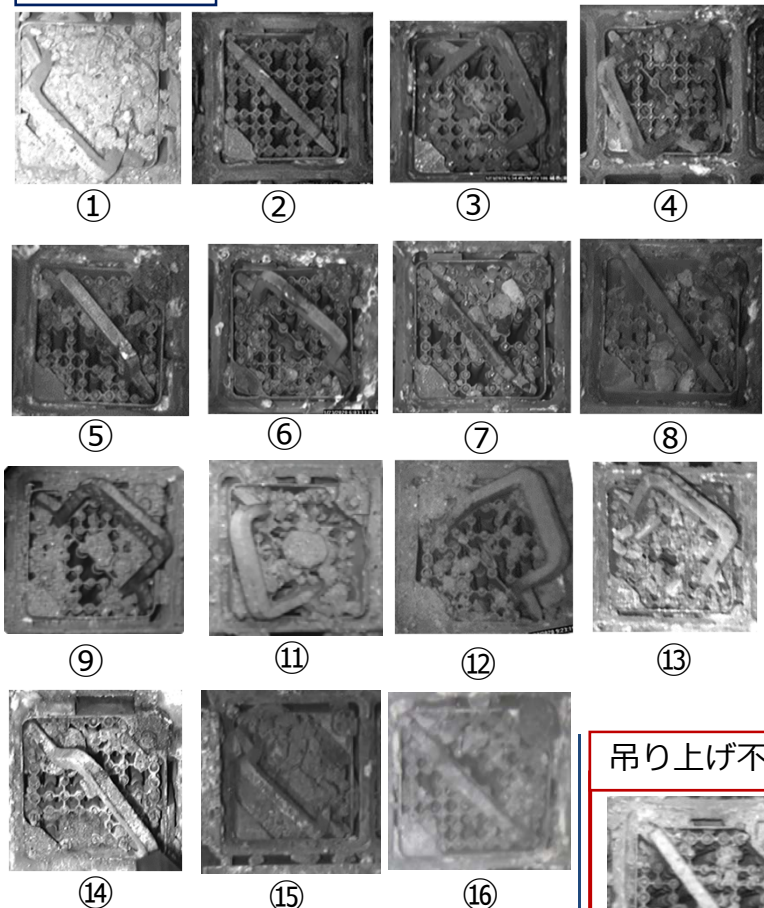
N o.	型式	ITVによる推定曲がり角度	変形方向	取扱い区分※1
①	STEP2	約10°	反CF側	A
②	9×9A	約10°	反CF側	A
③	9×9A	約40°	CF側	C
④	9×9A	約40°	反CF側	B
⑤	9×9A	<10°	CF側	A
⑥	9×9A	約10°	CF側	A
⑦	9×9A	約10°	反CF側	A
⑧	9×9A	約20°	反CF側	A
⑨	9×9A	約40°	CF側	C
⑩	9×9A	約10°	反CF側	B
⑪	9×9A	約60°	反CF側	B
⑫	9×9A	約60°	CF側	C
⑬	9×9A	約40°	CF側	C
⑭	9×9A	約20°	CF側	B
⑮	STEP2	<10°	反CF側	A
⑯	9×9A	<10°	-	A
⑰	9×9A	<10°	反CF側	A



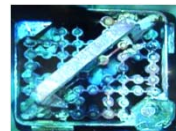
3号機使用済燃料プール内西側拡大図

- : ガレキ撤去完了
- : 燃料ハンドル目視確認完了
- : ハンドル変形燃料【17体】
- : 燃料取出済
- : 燃料が入っていないラック
- : 燃料交換機、コンクリートハッチが落下したエリア

吊り上げ可



吊り上げ不可

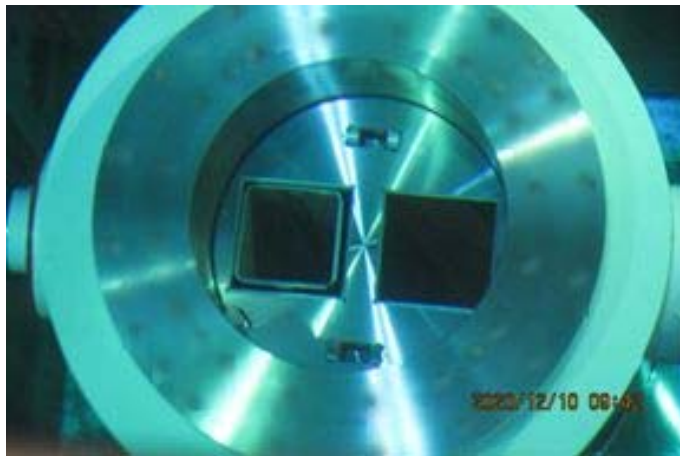


⑱ (共用プールで把持できなかった燃料、3号ラックへ戻した位置はP1参照)

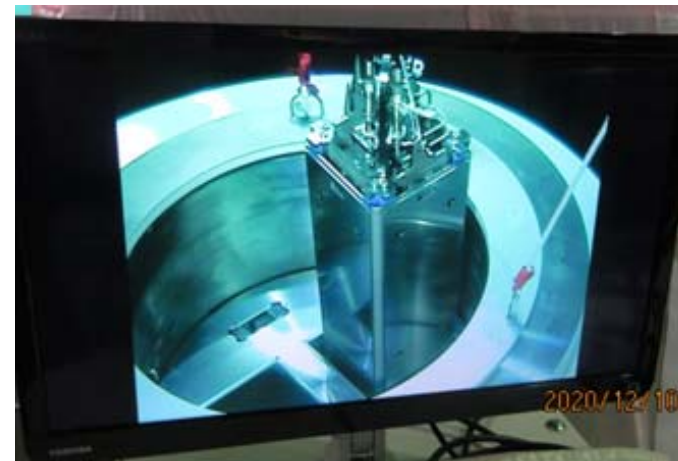
※取扱い区分	A	B	C
収納缶	小	大	
掴み具	既存		大変形用

## 7. 2体収納の輸送容器について

- ハンドル変形量の大きい燃料に対応する収納缶および輸送容器の準備を12月に完了。
- 3号機において模擬燃料の装填訓練を実施後、ハンドル変形燃料の取り出し作業を開始する。



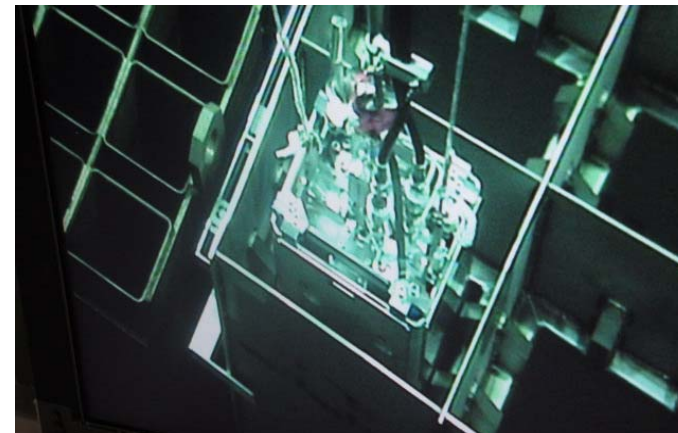
バスケット交換後（2体収納）



収納缶の吊り上げ状況



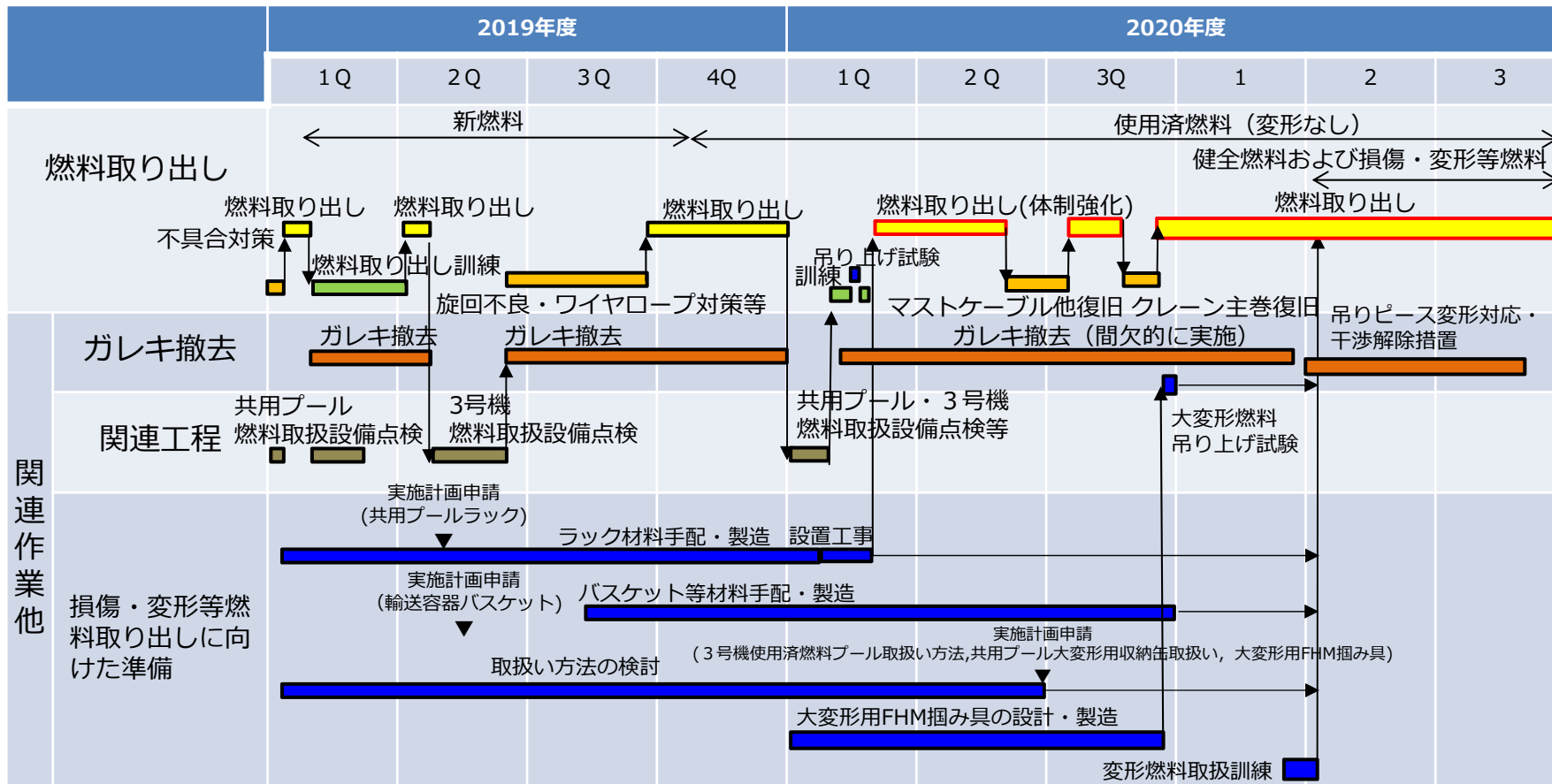
天井クレーン主巻での収納缶吊り具の取り扱い



ラックへの収納

## 8. 燃料取り出しのスケジュール

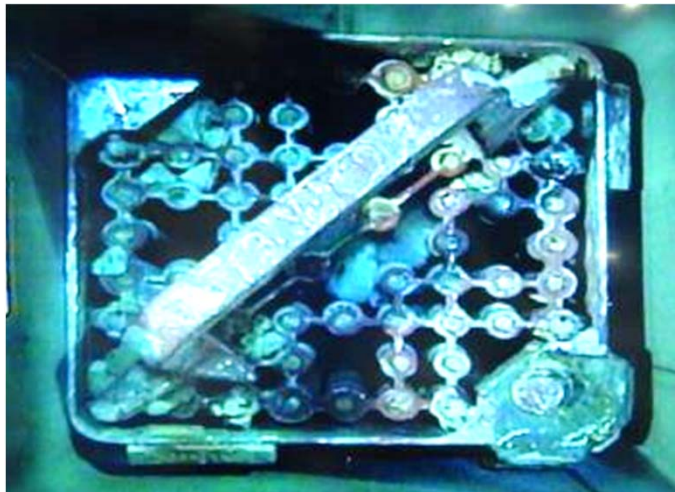
- ハンドル変形燃料の取り出しや干渉解除の措置等を計画的に進め、2020年度内の取り出し完了を目指す。



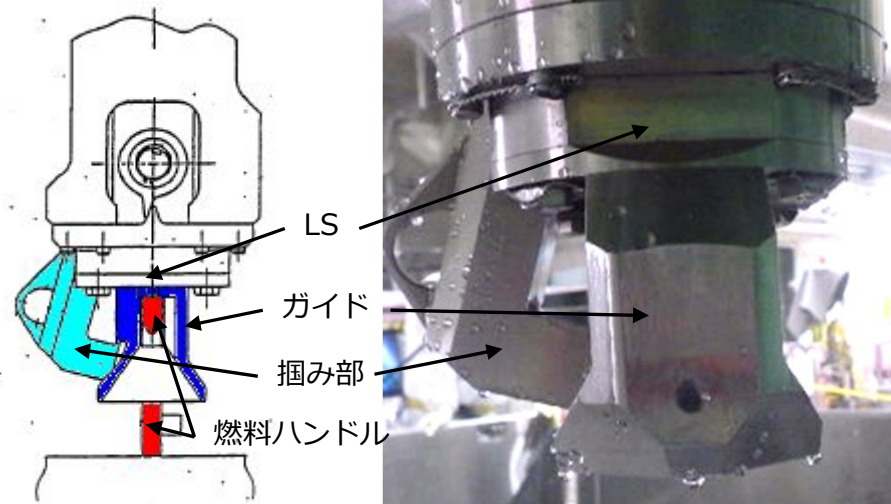


## 【参考】 共用プールで把持できない事象

- 共用プールの燃料つかみ具は着座時に燃料のハンドル部がガイド内のリミットスイッチ（LS）と接触することにより掴み部の開閉が操作可能になる構造
- 当該燃料は燃料ハンドルが若干変形しており、ガイド部に入らず把持できない可能性があるとの推定
- 共用プールから3号機燃料ラックへ戻し、治具による再確認を行い、当該燃料をハンドル変形燃料と判定した。当該燃料は、他のハンドル変形と合わせて取り出しを行う。



掴めなかった燃料（キャスク内）



共用プールのつかみ具の構造

### 使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) 2011/3/11 時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料 貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	0	49	0	49	91.3%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・2011/3/11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・2011/3/11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料のうち180体は4号機新燃料
1～6号機	494	3,758	230	4,482	29.5%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
乾式キャスク 仮保管設備	0	2,033	2,033	51.3%	3,965	キャスク基数37 (容量:65基)
共用プール	76	6,546	6,622	98.3%	6,734	ラック取替工事実施により当初保管容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

赤字:2020/12/24報告時からの変更点  
76体の使用済燃料を3号機から共用プールへ  
取り出し実施



# 1号機飛散防止剤散布実績及び連続ダストモニタ計測値

2021/01/28



東京電力ホールディングス株式会社

# 1.定期散布（1号機）

定期散布	
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。
頻度	1回/月
標準散布量	1.5L/m <sup>2</sup> 以上
濃度	1/10
散布範囲	<p>【凡例】   : 散布範囲</p> <p>約40m            約30m            オペフロ            建屋カバ</p>
散布面積	1,234m <sup>2</sup>



## 2.作業時散布・定期散布の実績及び予定（1号機）

作業時散布			
目的	オペフロ上での（ガレキ撤去や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする		
標準散布量	1.5L/m <sup>2</sup> 以上	濃度	1/10
散布対象作業	ガレキ撤去		
定期散布の実績及び予定			
計画（1月）	実績（1月）	計画（2月）	
完了予定日：1月21・22日 PN	完了日：1月21・22日 PN	完了予定日：2月11・12日 PN	

【凡例】 ：計画散布範囲 ：実績散布範囲

2021年1月28日時点

### 3.作業時散布の実績及び予定（1号機）

								当該週の散布範囲			
12月	月	20 (日)	21 (月)	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)			
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-			
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-			
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-			
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	6.20E-04 (最大) ND (最小)	6.36E-04 (最大) ND (最小)	4.63E-04 (最大) ND (最小)	2.24E-04 (最大) ND (最小)	2.49E-04 (最大) ND (最小)	1.37E-04 (最大) ND (最小)	2.07E-04 (最大) ND (最小)			
	月	27 (日)	28 (月)	29 (火)	30 (水)	31 (木)	1 (金)	2 (土)			
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-			
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-			
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-			
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.89E-04 (最大) ND (最小)	1.98E-04 (最大) ND (最小)	1.61E-04 (最大) ND (最小)	1.67E-04 (最大) ND (最小)	1.49E-04 (最大) ND (最小)	1.76E-04 (最大) ND (最小)	2.34E-04 (最大) ND (最小)			
	1月	月	3 (日)	4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)	8 (金)		9 (土)	
		散布対象作業	-	-	-	-	-	-		-	
散布面積合計 (m2)		-	-	-	-	-	-	-			
平均散布量 (L/m2・回)		-	-	-	-	-	-	-			
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1		2.86E-04 (最大) ND (最小)	2.79E-04 (最大) ND (最小)	1.93E-04 (最大) ND (最小)	2.15E-04 (最大) ND (最小)	1.86E-04 (最大) ND (最小)	2.95E-04 (最大) ND (最小)	3.81E-04 (最大) ND (最小)			
月		10 (日)	11 (月)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)			
散布対象作業		-	-	-	-	-	-	-			
散布面積合計 (m2)		-	-	-	-	-	-	-			
平均散布量 (L/m2・回)		-	-	-	-	-	-	-			
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1		3.24E-04 (最大) ND (最小)	2.93E-04 (最大) ND (最小)	3.41E-04 (最大) ND (最小)	2.52E-04 (最大) ND (最小)	1.95E-04 (最大) ND (最小)	2.01E-04 (最大) ND (最小)	2.35E-04 (最大) ND (最小)			
月		17 (日)	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)			
散布対象作業		-	-	-	-	-	-	-			
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	(定期散布実施)	(定期散布実施)	-				
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	(定期散布実施)	(定期散布実施)	-				
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.21E-04 (最大) ND (最小)	3.35E-04 (最大) ND (最小)	2.50E-04 (最大) ND (最小)	3.24E-04 (最大) ND (最小)	3.73E-04 (最大) ND (最小)	3.05E-04 (最大) ND (最小)	3.10E-04 (最大) ND (最小)				
月	24 (日)	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)				
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-				
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-				
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-				
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	3.07E-04 (最大) ND (最小)	2.26E-04 (最大) ND (最小)	1.71E-04 (最大) ND (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)				

※1 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値、ND=不検出